

The LORD is my shepherd,
I shall not want;
he makes me lie down in green pastures.
He leads me beside still waters;
he restores my soul.

憩いのみぎわ

2012年1月29日発行
(年4回主日発行・通巻79号)
キリスト品川教会
東京都品川区北品川4-7-40
電話03-3443-1721

2012.1

79

教会の礼拝堂で歌い続け、 20周年を迎えた「メサイア」。

毎年アドベントの最初のプログラムとして行われてきたメサイア合唱団の公演が、今回で20回目を迎えました。これまでずっと指揮をしてくださった藤本敬三先生、オルガンの伴奏をしてくださった筒井淳子さんに、心から感謝いたします。



このプログラムは、隣のホテルラフォーレ東京の初代の総支配人である小松稔男さんの発案によるものです。小松さんが大津におられた時に、近所の教会がメサイアの合唱を企画して、ホテルに協賛を求めて来たのがきっかけで、メサイアをお聞きになり、とてもよかったですということでした。品川教会には立派な礼拝堂があるのだから、ぜひおやりなさいと奨められて、品川教会のスタッフが企画し、地域の方々呼びかけて、第1回を行ったのが1992年のアドベントです。以来20年間、多くの人が団員として、聴衆として、奉仕者として、このメサイアを支えてくださいました。ありがとうございます。

これからも、このプログラムを通して、メサイアでいますイエスに触れてくださる方がひとりでも多く起こされることを、心から願っています。

1992年第1回メサイア公演



第1回メサイア公演のチラシ



→2011年アドベントの第20回メサイア公演。合唱団おひとりおひとりのコメントに感謝のこたえがふれている。

20周年に際してコメントをいただきました。

〈ソプラノ〉

●岡村佳代子さん(第10回)
10周年のメサイアから品川教会のすてきな友人に誘われて、20周年のメサイアを健康で歌うことができ、とても幸せに思います。あつというまの11年でした。本当にありがとうございます。

●長岡悦子さん(第18回)
参加1年目は、訳も解らず終わってしまい、2年目は少し歌うようになった程度で終わってしまいました。3年目の今年は、暗譜の目標でしたが挫折来年も挑戦します。宜しくお願いします。

●鈴木元子さん(第19回)
ピアノ教室に通っていた娘達の発表会で、礼拝堂の客席からハラハラドキドキしながら見守っていた私が、昨年初めてメサイア合唱団に参加させていただき、舞台の上でも幸福感に包まれた素敵なドキドキを味わわせていただきました。

●明智子さん(第20回)
今年、念願のメサイア公演に参加できました。品川教会に通えるようになった事も、本当に幸せに思います。これまでの人生、色々な事がありましたが、全て神様に繋がっていた、お導きだったのだと感じました。

●白石真理子さん(第1回)
この夏にメサイア20年皆勤賞を頂いた事で、乳がん入院していましたが、ずっと励みになりました。今日のゲネプロで素晴らしい音楽の中に入られる事にとても感謝すると共に小さな賞状の大きな存在に感謝しています。

●吉田晴子さん(第1回)
第1回から第4回まで主人と一緒に歌うことができました。昇天して、暫くして、また参加し、11回になります。20回の間にはいろんなドラマがあり、神様の歴史を語りながら、主の愛を讃えしメサイアは前進します。

●岡栄子さん(第1回)
毎年新しい団員が与えられて、20周年を迎えました。ご事情でお休みの年月があっても、戻って来てくださって、一緒に歌う喜びがあります。メサイア合唱団をふるさとのように、思うことができました。感謝です。

●松本香美さん(第6回)
初めて聴いた日比谷公会堂大のメサイア、全員起立の「ハレルヤ」に感動、冬のボーナスでLP3枚組のレコードを買いました。ソプラノはジャマルツコップ、30年を経てもさかの聴かせる例に立てるとは！大感激でした。

●陸井雅さん(第16回)
まだ楽譜が手放せません。自信をもって歌えるよう

うになるには、後何年かかるでしょう。1年の締めくくりとして、体力の続く限り参加させていたきたいと思っています。

●匿名希望さん(第20回)
毎年友人の演奏を聴いておりましたが、昨年10年来介護の連れ合いを亡くし、供養のため歌おうと参加させて頂きました。途中、思いがけず乳癌の手術を受け、牧師様のお話、藤本先生のお祈りなど大変に支えとなりました。

●勝又よ子さん(第20回)
いつかメサイアを歌ってみたいと思っていました。レッスン場は少し薄暗く楽譜を読むことに戸惑いました。それでも藤本先生の熱のこもったご指導で意欲が湧いてきました。品川教会の礼拝堂で歌う喜びを感じています。

●楠富士子さん(第20回)
今まで毎年聴かせていただき今年初めての参加でした。聴くと歌うとは大違いで、キリストを十字架につけて罵倒していた自分の姿が曲に乗って浮き彫りにされました。改めてキリストの救いと救いの業を感謝し讚美したいです。

●金子道弘さん(第11回)
私たちは、あなたの栄光ある名をほめたたえ常に主をあがめて歌います。福音(キリスト)がわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、三日目に復活したこと)を喜び、恵みを感じます。

●小松稔男さん(第1回)
よちよち歩きで始まった合唱団がよくここまで歩を進めたかと思うと感慨深いものがあります。これは偏に吉村、藤本、筒井、ピアノの先生方をはじめ、教会の皆様の並々なお導きの賜物と感謝しております。

●立石光洋さん(第18回)
3年前、病床のSさんから「ぜひおやんなさい」と勧められ、全身全霊で賛美する喜びを知った。今年は震災で被災された人々を思い、こんな時でも神を賛美し、救いを待ち望むことの重みを知ったメサイアとなった。

●渡部通英さん(第19回)
今回はまだ2度目です。昨年の初回ではわけも分からず、もうやめようと思いつながら続けました。今回は少し先が見えて来て、先生や合唱の皆さんに助けられて無事終了。おかげさまでした。

●楠浩介さん(第20回)
クリスチャンとして今まで様々な賛美に接してきましたが、自らがキリストを十字架につける民、自分勝手な民としての合唱参加によって自分の罪と贖罪の十字架の重み、神への感謝が改めて身に迫ってきました。

※団員の皆さんからのコメントは昨年の20周年公演時にいただいたものです。

アドベント・クリスマス行事のフォトメッセージ



ウェンズディナイト・クリスマス

●12月7日(水)夜の祝会はさまざまな年代の方々をお迎えて、一緒に楽しく食事をした後、メッセージに耳をかたむけます。



ボランティア・クリスマス

●12月7日(水)お昼のクリスマス祝会ですが、キャンドルのひかりがこころに落ち着きを灯します。



朝の聖書の会・クリスマス

●12月7日(水)参加者が増え続けている朝の聖書の会クリスマス。毎年、子供たちをともなったご家族の参加で楽しいお祝いの会です。



高校生の会・クリスマス

●12月25日(日)高校生のバンド演奏とボーカルに先生方も参加する、若々しい祝会です。



幼稚園クリスマス・ページェント

●12月17日(土)日頃の練習成果をからだいっばいで表現します。色鮮やかな舞台で演じられるページェントはご家族といっしょの楽しいひととき。



ポピークラス・クリスマス

●12月9日(金)・14日(水)・15日(木)お母さん方が楽しく企画した祝会に、子供たちも喜びいっばいに讃美します。



教会学校・クリスマス

●12月25日(日)礼拝後の教会学校のページェント「ひつじかいのふえ」。ひとりひとりが一生懸命に役を演じて、楽しく思い出深いひととき。



クリスマス・主日礼拝

●12月25日(日)新しく4名の受洗者を与えられたクリスマス礼拝。喜びいっばいに感謝と讃美をささげました。



クリスマス・イブ礼拝

●12月24日・土曜日のイブ礼拝は、いつもより1時間早く午後4時半から始まりました。第一礼拝は満席状態でしたが、落ち着いた良い礼拝を守れ、感謝でした。

シオン・フルゴスペル・チャーチ 西条伝道所のクリスマス



●12月18日(日)毎年演じられるクリスマス聖劇では教会学校生徒さんの活躍とともに、舞台装置や衣装、美術小道具などの制作で、教会員のかくれた才能が開花し、助けられている面があるそうです。



●12月11日(日)地域の教会で行われる合同クリスマス礼拝。昨年は西条カトリック教会にて、そろいの衣装も凛々しく、トーンチャイムで「きよしこの夜」を演奏し、参加者の視線を一身に集めました。

日もやまず教会に行きます。

ぼくは、品川教会ようちえんを卒業して4年がすぎました。ようちえんの3年間はとつてもたのしかったです。クリスマスの会では博士の役をしました。自分なりに色々工夫してやったつもりでしたがイエス様がぼくの所に来てくださった喜びをその時表現すればよかったのには思います。

去年から親子信仰教室にさんかさせていただきました。そこで吉村先生に人は肉や野菜を食べて生きていけるのではなく神様の口から出る一つ一つの言葉で生きると聖書に書いてあると教えていただき、洗礼を受けたいと思いました。でも、その前まで自分が洗礼を受けるとは思いませんでした。

イエス様は、悪魔のゆうわくをうけた時「しりぞけ、サタン」と言っていてゆうわくに勝ちました。勝ったイエス様です。そのイエス様についていきたいと思えます。



受洗された
きのしたとしまる
木下聖将さん

受洗 おめでとう
ございます
12月25日(日)のクリスマス礼拝で受洗され、新しく教会員に加わった4名の方々をご紹介します。

教会員は語る

「品川教会と私」 鈴木きららさん

私は1歳半で日野原記念教会の幼稚園に通っていました。幼稚園では毎日日野原ゆり先生（日野原重明先生のお母様になります）が聖書のお話をして下さいました。私はこのお話の時間が大変大好きでした。他の時間は「あなたは小さいから未だしなくてよいです」と言われるので何もさせてくれない先生たちが嫌いでした。小学校の頃は妹と家から30分

程離れた教会学校に歩いて通っていました。私は聖句を暗誦するのが苦手な子でした。小学校の頃にゆり先生からいただいた聖書を毎日音読するようになりました。高校はキリスト教主義の共愛学園という前橋にある学校に入学し、1年生の途中から聖歌隊に入りしました。毎日15分の礼拝があり、歌の練習も毎日のようでありました。歌を歌うことが苦手だった私が少しずつ変わっ

ていきました。高校からそのまま短大にありますが、また短大の聖歌隊に加わりました。短大を卒業してから青学の友人に「学校を卒業して歌を歌うところが無くなって淋しい」と話すとメサイア合唱団に連れて行ってもらうことになり、品川教会に来ることになりました。それが丁度、第一回目のメサイアです。メサイアに出会えた



「出会いメサイア」と話された鈴木さん。
メサイア公演20周年の今号に登場いただき感謝です。

その当時の私は、とても荒れた生活を送っていました。常に孤独感や不安の中にいて、悪い行いを繰り返しては自分自身を深く傷つけていました。神様は、教会から離れた場所でも苦しんでいる私に対し、教会に通う機会をお与え下さいました。教会に通い礼拝に参加する程に、神様が

私が初めて品川教会を訪ねたの



受洗された
陳敏さん

は、平成23年1月のある日曜日で、すこし遅れて教会に入ったとき、既に礼拝が始つておりました。始めて吉村先生の説教を聞き、讃美歌を歌えて、すこく癒されました。その後、教会員の江さんと桃井さんに声をかけていただいて、礼拝後の集會に参加し、とても楽しい時間を過ごすことができました。日曜日の礼拝に参加するようになってから、数か月が経ち、教会員の桃井さんの後押しをいただき、入信記を提出することに決心いたしました。3ヶ月の決心者講座を経て、クリスマスという特別な日に受洗することに至りました。心から嬉しく思い、神様に感謝いたします。これから品川教会の一員として、いつも喜んでいなさい、絶えず祈りなさい、どんなことにも感謝しなさい、という聖書のみ言葉を銘記し、みなさんと共に信仰を深め、成長していききたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

さらには、元来、先天性股関節脱臼に依り近年、杖の使用を余儀なくされました。その杖は、我が足を軽やかに安全に運んでくれる神様からの杖です。使い始めて間もなく、見知らぬ人達がさまざまな場面で、親切にして下さいます。「何故なの？」と疑問を抱き

私には、訳あって別々に暮らす子供達がおります。母親として、子供達の事を思うと、涙はとまりません。でも神様は、私に祈る事と信じる事を教えて下さいました。越して来て2、3ヶ月は泣かない日はありませんでした。そして、いつの間にか、子供達の幼き頃を思い出しては、なつかしく、いとおいしく思うようになりました。さらに私は、元来、先天性股関節脱臼に依り近年、杖の使用を余儀なくされました。その杖は、我が足を軽やかに安全に運んでくれる神様からの杖です。使い始めて間もなく、見知らぬ人達がさまざまな場面で、親切にして下さいます。「何故なの？」と疑問を抱き



受洗された
高橋友美さん

私が、初めて品川教会の礼拝に参加したのは2年前のクリスマス・イブ礼拝です。

ある日、興味本位でのぞいた品川教会のホームページで、偶然見た礼拝の中で吉村牧師がおっしゃった「イエスはいつも側にいて下さるから私達は決して一人ではない」という御言葉に慰められ、礼拝に参加したいと思いました。

多くの方のお祈りや、温かい交流、青年部をまとめていく下さる黄副牧師の後押しにより、今、洗礼まで到ることが出来ました。全ては神様のお導きによるおかげです。心から感謝いたします。今後は、品川教会の教会員として、以前の自分自身の様に、神様の愛を知らず、教会から離れた所で苦しんでいる、同年代の方や若い方に、教会に通うきっかけを与えられる者になりたいです。



受洗された
長森悦子さん

私には、訳あって別々に暮らす子供達がおります。母親として、子供達の事を思うと、涙はとまりません。でも神様は、私に祈る事と信じる事を教えて下さいました。越して来て2、3ヶ月は泣かない日はありませんでした。そして、いつの間にか、子供達の幼き頃を思い出しては、なつかしく、いとおいしく思うようになりました。さらに私は、元来、先天性股関節脱臼に依り近年、杖の使用を余儀なくされました。その杖は、我が足を軽やかに安全に運んでくれる神様からの杖です。使い始めて間もなく、見知らぬ人達がさまざまな場面で、親切にして下さいます。「何故なの？」と疑問を抱き

また、クリスマスという特別な日に、洗礼者として神様より、お選び頂いた事は、最上の喜びです。さらには大いなる恵みです。これからの信仰生活においても、神様の杖をお借りして、イエス様と共に歩ませて頂きます。私は神様より大きな課題を頂きました。どうしたら自分の意思を通しつつ隣人をも愛せるのか？相手の意見をお聞き、自分の意向との妥協点を見出す。また、心強くして自分の意見も打出す。これは書く程たやすくありません。でも私は受洗させて頂き、神の子とならせて頂けると、さらに心強くなれると確信しております。今もこれからも、人それぞれに愛をもって用心深く隣人に接して参ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。

牧師の 仕事場日記

吉村和雄



いろいろあります... ありました。

●10月9日(日)

今日はバザー前日の日曜日、朝一緒に礼拝をして、一斉にバザー準備に入る。夕方になって奉仕者が少なくなってきたところがわたしの出番で、キッチンへ行って明日の朝食を作り始める。以前は夜8時過ぎでないとキッチンが空かなかった。今は6時前に取りつかれる。手際がよくなくなってきたのだろうか。こうやって朝食の牛丼を作り続けてもう28年になる。これを楽しみに行っている人も多いので、手は抜けない。ともかく、人に喜んでもらえる仕事ができるのはありがたい。

●10月13日(木)

8月にジョー・山中というロック歌手の葬式をした。葬式を終えて親族と食事をした時、たまたま同じテーブルにいた親族のひとりが勝浦市在住であること知ってびっくり。その後9月に我が家にご招待し、今日はお招きを受けて母と妻と共に、東急リゾートの別荘地にあるお宅を訪問する。おいしいワインとイタリア料理で歓待してくださいました。こういう出会いが与えられるのは、本当に不思議なことだ、これも感謝。

●10月31日(月)

広島市の五日市教会に招かれて一昨日の土曜日から妻と共にこちらに来てい



●田村牧師のご家族と一緒に牧師館で

る。この教会の田村耕造牧師は説教塾の古い友人で、礼拝と研修会の講師として招いてくださった。田村牧師は以前、東京で伝道しておられて、その時に一度招かれたことがあり、ご家族とも親しい。今回はご家族ぐるみで歓迎してくださいました。昨日の礼拝も研修会も充実したもので、田村牧師がよい牧会をしていてよかった。今日はご家族と共に、安芸の宮島を訪れる。紅葉にはちょうど早いけど、やはり日本三景の一つで景色はすばらしい。牡蠣料理も堪能して、よい休日を通りさしていただいた。感謝。

●11月4日(金)

夜7時から代田教会で打ち合わせがある。しばらく床屋に行っていないので、途中で食事と散髪してから行く。そうと思い、早めに教会を出た。久しぶりに広州市場で担々麺を食べ、五反田にある行きつけの床屋に行き見て見れば、何と先月25日で閉店とのこと。副牧師の時代からもう25年も通って、ポイントカードのポイントもそれなりにたまっているのに、どういふことだと怒っても、ないものはないのだから仕方がない。とりあえずこの頭を何とかしなければ。これから新しい床屋を探すのかと思うと、気が重い。

●11月6日(日)

明日は横浜でワークショップがあるの

●11月18日(金)

ミヤンマー教会のクプ牧師から一度昼食と一緒に誘われていて、今日妻と共に出かけます。品川まで歩きながらどこへ行くのかと、と訊いたら、先生が決めてください、と言う。あわて

●11月20日(日) 教会記念日礼拝の午後ホール集会では「おいもの交誼」を行なった後、石川一視さんがまとめたユニークな視点の「品川教会の歴史」がスクリーンを使って披露されました。



で、今日は東京で過ごす。どこにいても、日曜日の夜はテレビを見る。7時半から「ダーウィンが来た」、それが終わると妻の好みで「劇的ビフォアアフター」。9時から「トニー」、11時から「イ・サン」と決まっている。特に最近韓流にはまっています。最後にふたつは欠かせない。これもこだわりがあって、必ず韓国語音声で日本語字幕でなければならぬ。先週広島では宿泊した教育館にはテレビがなかった。田村牧師に頼み込んで牧師館でトニーを見せてもらい、韓流など見たこともないというご家庭をつきあわせてしまった。迷惑な友人で申し訳ない。さすがに「イ・サン」は時間が遅いので遠慮したが、実はわたしはこのDVDを全巻揃えているので大丈夫。それならテレビを見なくても、とお思いかもしれないが、やっぱりテレビを見る。だからDVDは買ったけど殆ど見ていない。何ともおかしなことだが、根がおかしな人間なので仕方ない。今はトニーのDVDも揃えようかどうかどうしようか迷っている。



●教会入口に飾られている看板は、昨年教会員子弟の会で制作したものです。川崎曜さんの描いた原画をもとに、みんなで大きく仕上げました。

●12月25日(日)

今日はクリスマス礼拝、大勢の人と一緒に主イエスのご降誕を祝う。何よりも4名の受洗者が与えられたことが嬉しい。皆最後まで迷うことなく信仰の旅を続けて欲しい。午後は高校生のクリスマス会。バンドの演奏やゲームなど、それぞれ工夫がなされていて、これも楽しかった。昨日はイブ礼拝で2回の説教、今日も朝と午後に別々な説教をして、かなり疲れたが、ラストスパートだと思って頑張る。いや本当は、疲れていても不思議に語ることが与えられる。聴き手の中に、主イエスが



●11月29日(火)第20回メサイア公演は、調整室からインターネットによるライブ中継を行いました。

がえられるからだと思う。感謝。



後列、吉村先生の隣から小松一星さん、宮間彰広さん。前列左から、山下結実さん、鈴木真実さん、石松英里香さん、石川澤さん。

●1月8日(日) 第一礼拝で成人式礼拝を守り、ホールでは成人を迎えた皆さんが讚美するなど、にぎやかな歓迎会がありました。一番が橋爪匠さん。



●1月14日(土) 午後1時より礼拝堂にて、教会員・山名理香さんと鎌川勇司さんの結婚式が行われました。

【編集後記】今回はクリスマスの特集です。メサイア合唱団の公演から始まって、25日のクリスマス礼拝まで、祝福されたクリスマス時の時を過ごさせていただきました。この誌面を通して、思い起こすことも多いのではないのでしょうか。